

当院消化器外科で、
食道狭窄治療における
細胞シートを使った自由診療の
再生医療が始まります。
細胞シート工学は、再生医療を飛
躍的に進歩させる画期的な技術と
して注目されています。

消化器病センター

令和3年4月に開設した「消化器病センター」では、主に食道・胃・十二指腸・大腸疾患(胃十二指腸潰瘍、消化管出血、腸閉塞、胃・大腸ポリープ、胃・大腸悪性腫瘍など)、および肝・胆・膵疾患(肝炎、急性胆嚢炎、胆管炎、胆石症、急性膵炎、肝・胆・膵悪性腫瘍など)を対象に、消化器内科・消化器外科が協力して診療をおこなっています。

おなかのヘルニアセンター

令和6年8月に開設した「おなかのヘルニアセンター」ではロボット手術システム(da Vinci ダビンチ)を導入し、消化器外科・外科が協力してヘルニアの診療と手術をトータルに行っております。

すべての
消化器疾患に対応
最先端の治療は
たまほく消化器外科へ



手術支援ロボット da Vinci Xi (ダビンチ)



地方独立行政法人 東京都立病院機構

東京都立多摩北部医療センター
Tokyo Metropolitan Tama-Hokubu Medical Center

消化器外科ホームページ ▶▶▶



たまほくホスピタル
たまほく
診療科リーフレット

消化器外科



手術支援ロボット(da Vinci Xi)を導入しています。

当科は腹腔鏡手術とロボット手術を得意としています。特に胃癌、胃GIST(LECS)、膵臓癌(DP)、鼠経ヘルニア(TAPP)、腹壁癒痕ヘルニアに対し積極的に腹腔鏡手術をおこなっています。また、2023年6月より手術支援ロボット(da Vinci Xi)を用いた、ロボット支援下大腸(直腸および結腸)手術を導入し、ほぼすべての大腸癌をロボット手術でおこなっています。

当科のすべての医師がダビンチ手術の免許を有しており、日本内視鏡外科学会ロボット支援下手術(ダビンチ手術)のプロクター(指導医)の執刀または指導で安全に手術をおこないます。適応を考慮しながら、精度の高い外科手術を提供します。



経験を積んだ医療スタッフにより専門性の高いチーム医療を提供します。

当科の医師は、日本消化器外科学会専門医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本大腸肛門病学会専門医、日本食道学会食道科認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定医を取得しています。消化器センターにおいて消化器内科と協力しながら、チームで診療・手術を行います。薬剤師、看護師と協力しながら、患者さまとご家族さまに丁寧な説明をおこない、専門性の高い最先端の医療を提供します。



すべての消化器疾患を対象に診療します。

消化器癌(食道癌・胃癌・小腸癌・大腸癌・肝臓癌、胆道癌・膵臓癌など)、良性疾患(良性腫瘍、胆石症、イレウス、ヘルニアなど)、腹部救急等、あらゆる消化器疾患に対応できます。

